

案件

市立デイサービスセンターの あり方検討に係る現状と今後の方向性等について

健康福祉政策課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市では、人口減少と施設の老朽化に対応するため、「枚方市公共施設マネジメント推進計画」に基づき、公共施設の長寿命化・総量最適化を推進しています。

この取り組みの一環として、指定管理者制度により管理運営を行っている3か所の「市立デイサービスセンター」については、民間の通所介護事業所等の設置状況やサービス提供の充足状況を踏まえ、機能集約や廃止も含めたあり方について検討を進めます。

また、「総合福祉センター」及び「楽寿荘」においては、利用者の利便性向上が図られるよう、現行の施設予約システムから予約できるようシステム改修を行うとともに、「楽寿荘」については、この施設予約システムの改修に合わせ、使用区分の見直しを検討も行います。これらの取り組みを通じて、高齢者のさらなる社会参加を促し、施設の活性化と利用者満足度の向上を図ります。

2. 内容

2-1. 市立デイサービスセンターのあり方検討について

(1) 検討の必要性

市立のデイサービスセンターが設置された平成5年（1993年）当時、市内には民営のデイサービスセンターは5か所しかなく、本格的な高齢化社会の到来による要介護人口の増加を見据え、「枚方市立デイサービスセンター」を設置しました。その後、平成9年（1997年）に「枚方市立くずは北デイサービスセンター」、平成10年（1998年）には「総合福祉会館（ラポールひらかた）デイサービスセンター」をそれぞれ開設し、現在これら3か所の市立のデイサービスセンターを指定管理者制度により運営しています。

しかし、平成12年度（2000年度）に介護保険法が施行されて以降、デイサービスセンターは大幅に増加し、令和8年（2026年）3月現在、市内には169か所のデイサービスの施設があり、民間事業者の参入によりサービスも多様化しています。

このような社会情勢の変化を受け、市が公的な立場でデイサービスセンターを運営し続けることの必要性や、その役割についての再検討が喫緊の課題となっています。そこで次期指定管理者の公募を行う令和9年度（2027年度）までに、機能集約や廃止も含めた最適なあり方について検討・整理を進めてまいります。

(2) 施設概要

施設名称	枚方市立くずは北デイサービスセンター	枚方市立デイサービスセンター	総合福祉会館(ラポールひらかた)デイサービスセンター
所在地	枚方市楠葉野田3丁目12番3号	枚方市交北3丁目1番52号	枚方市新町2丁目1番35号
用途地域	第一種低層住居専門地域	第一種中高層住居専用地域	準工業地域
面積	敷地	2,045㎡(ゲートボール場約700㎡)	2,026.24㎡
	建物	536.13㎡	1,901.64㎡
	延床	900.86㎡	248.40㎡
建物構造等	鉄骨造、地上2階、新耐震	鉄筋コンクリート造、地上6階、新耐震	鉄筋コンクリート造、地上4階、新耐震
駐車場等	駐車場8台、駐輪場7台	駐車場11台、駐輪場30台	駐車場17台、駐輪場48台
開設年	平成9年(1997年)	平成5年(1993年)	平成10年(1998年)
利用者定員	35人	30人	35人
休所日	①毎週日曜日	①毎週日曜日	①毎週日曜日
	②1月1日から1月3日までの日	②1月1日から1月3日までの日	②12月29日から1月3日までの日
開館時間	9時から18時	9時から18時	9時から17時

施設外観



(3) 「市立デイサービスセンター」の現状

あり方を検討するにあたりましては、見直しを進めた場合に民間施設で代替が可能かなど、利用者への影響をはじめ、市内の施設設置状況などを総合的に勘案し判断する必要があります。

施設名称	くずは北デイ	市立デイ	ラポールデイ
利点	<ul style="list-style-type: none"> ・浴槽が大きく、機械浴等が可能であるため、中重度利用者の受け入れが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・浴槽が大きく、機械浴等が可能であるため、中重度利用者の受け入れが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・浴槽が大きく、機械浴等が可能であるため、中重度利用者の受け入れが可能 ・障害者利用率が高い
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接市との境に位置しており、市外利用者が全体の54.5%を占めている ・ゲートボール場が併設されており、指定管理者が管理を担っている ・デイサービス単体施設であり、他施設と比較して保全計画のスケールメリットが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立特別養護老人ホームのニーズは非常に高く、デイサービスセンターと一体的な施設として運用していることからデイサービスセンターのみを廃止等は困難 ・建物が府営住宅と合築という機能面や、施設の無償貸与・有償貸与ともに難しいため民営化が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度(2023年度)の利用率56% 3施設の中で最も低い ・令和4年度(2022年度)の指定管理者選定の際に当時の指定管理者も含め、事業者からの応募がなく、2回目で現指定管理者の応募があった ・館内施設であるため、廃止後のコストメリットが少ない

令和7年度(2025年度)に実施した市内民間通所介護事業所への状況調査では、新規利用者の受け入れが可能な事業所が多いことを確認しています。その一方で、ストレッチャー浴が必要な障害者の受け入れについては、対応できる事業者が限られている現状であることも確認しており、これらの状況を踏まえ、総合的に「市立デイサービスセンター」のあり方について検討を進めます。

2-2. 総合福祉センター等の利便性向上に向けた取り組みについて

(1) 施設予約システムの導入について

市の既存の施設予約システムを改修し、「総合福祉センター」及び「楽寿荘」の施設予約機能を追加導入します。これにより、これまで各施設で直接行っていた施設予約が、スマホなどからいつでも施設の空き状況の確認や予約手続きが可能となり、利用者の利便性が大幅に向上します。

(2) 楽寿荘の使用区分の設定について

「楽寿荘」については、施設予約システム導入と同時に、現在1時間単位での設定となっている使用区分を見直し、「総合福祉センター」など他の施設と同様に「午前枠」「午後枠（A・B 2枠）」「夜間枠」といった、それぞれ2時間ごとの使用区分を設定することとしています。

使用区分1時間の課題と2時間とするメリットについては以下の通りです。

使用区分（1時間）の課題	使用区分（2時間）設定のメリット
<ul style="list-style-type: none">・時間単位が細かいため、中抜けがある状態で予約が入ると他の利用者が連続して利用しにくい。（非効率な予約）・別団体による利用が連続した場合、入れ替え時間を設けていないため、受け渡し（確認・掃除・原状復帰）を含めた時間貸しとなり、実質的な活動時間が短くなる（利用時間の制約）。また、頻繁な入れ替えは、一連の維持管理作業の頻度を高めている。（維持管理の負担増）	<ul style="list-style-type: none">・非効率な予約が解消されることで、定期定例の活動がしやすい。また、同じ時間帯の活動となることで横のつながりが生まれやすい。・入れ替え時間（確認・掃除・原状復帰）が設けられるため、利用時間終了までゆったりと使えるほか、維持管理の効率化が図れる。

3. 実施時期等（予定）

(1) 「市立デイサービスセンター」について

令和8年（2026年）6月	市民福祉委員協議会へ報告
令和8年（2026年）11月	市民福祉委員協議会へあり方の報告
令和9年（2027年）4月	次期指定管理者の公募に向けた選定委員会の設置等の準備
令和10年（2028年）4月	次期指定管理者による運営開始

(2) 総合福祉センター等について

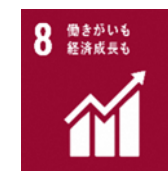
令和8年（2026年）6月	市民福祉委員協議会へ報告
令和8年（2026年）9月	定例月議会へ使用区分設定のための条例改正案の提出（楽寿荘）
令和8年度（2026年度）内	施設予約システムの導入と予約受付開始

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画

基本目標 2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち

施策目標 9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち



5. 関係法令・条例等

枚方市デイサービスセンター条例

枚方市立老人福祉センター楽寿荘条例

枚方市総合福祉センター条例

6. 事業費・財源及びコスト 令和8年度（2026年度）当初予算計上済み

	事業費	財源
デイサービスセンター関連	市立特別養護老人ホーム・デイサービスセンター施設改修費 14,700 千円 市立総合福祉会館デイサービスセンター施設改修費 350 千円	施設保全整備基金繰入金 2,500 千円 市債（社会福祉施設等施設整備事業） 11,100 千円 その他、一般財源
楽寿荘関連	楽寿荘管理運営経費 23,171 千円 ・各種委託料 18,553 千円に施設予約システム改修委託 3,300 千円含む ・諸経費 3,628 千円 ・諸経費（福祉基金繰入金分） 990 千円	楽寿荘使用料 1,780 千円 ※各種委託料へ充当 電気使用料等実費収入 40 千円 市債（楽寿荘施設等整備事業） 1,600 千円 福祉基金繰入金 990 千円 その他、一般財源
総合福祉センター関連	総合福祉センター管理運営経費 130,889 千円 ・施設予約システム改修委託 3,443 千円 ・指定管理料 72,931 千円 ・福祉バス運行等委託料 8,437 千円 ・送迎バス運行委託料 37,356 千円 など	総合福祉センター使用料 3,801 千円 電気使用料等実費収入 75 千円 施設保全整備基金繰入金 100 千円 市債（社会福祉施設等施設整備事業） 1,600 千円 その他、一般財源